



～第47回～

寿地区文化祭開催！

第47回目となる寿地区文化祭が開催されました。前日までの雨で天候が心配されましたが、秋晴れの穏やかな日差しの中で、多くの皆さまに参加いただきました。

テーマは、ことぶきの「わ」



寿子ども会育成会のかかし祭り



世帯数 6,189戸
人口 13,614人
(令和7.1.1現在)



出店会場での賑わい



寿小学校金管バンドによる
ステージ発表



寿体育館内の様子



寿小学校2年生による
オープニングセレモニー



元気のいいオープニングセレモニーに続き、寿体育館でのステージ発表、待ちきれないほどの日本赤十字奉仕団寿分団による豚汁無料配布、ことさぼキッチンなど飲食にも夢中です。



作品展示スペースの傑作たち



展示コーナーには様々な作品が並び、目を引きよせていました。

【館報編集委員 百瀬弘規】



文化祭に参加して

私たちは先日、寿地区文化祭に筑摩野中学校の生徒ボランティアとして参加しました。出店を担当するのかなと思っていましたが、当日任せられたのは開会式での司会という大役でした。最初は驚きと戸惑いを隠せませんでした。が、地域の方々が暖かく見守ってくださり、そのおかげで無事に司会をやり遂げることができました。

寿体育館で行われたステージ発表では、それぞれの団体が活気ある発表をしていて、寿地区が活気づいている理由が分かりました。私たちも元気をもらうことができました。

中学生ながら司会という大役を通して感じたことは、みんなが笑顔で楽しめる寿地区文化祭がいつまでも続いたら良いなことでした。



【筑摩野中学校 赤羽美玲 岩垂愛実】

わがまちへ白川町会

白川町会の伊藤英雄さんを紹介いたします。

伊藤さんの趣味は「撮り鉄」です。

Q 写真の趣味はいつ頃からですか？

A 今から25年ほど前、仕事で定年になる頃です。何か趣味でも始めようと思っていたのですが、他の人の写真を見てより本格的にやってみたいと思いました。

Q 撮り鉄にハマったきっかけは？

A 木崎湖で風景写真を撮っていたら、ちょうど臨時特急がレンズに飛び込んできて、その時の写真をとても気に入りました。それから鉄道写真に没入することになりました。

Q 撮るのはどういう列車ですか？

A SL、寝台特急、機関車などの、昭和の名残りの列車がある列車ですね。特に寝台



特急の『カシオペア』『北斗星』『トワイライトエクスプレス』は一生懸命に撮りましたね。新幹線の延伸とともに減ってきて、今は走っていないですからね。

Q 特に思い出に残っているのは？

A 東北の大震災の二日前に仙台の岩手県寄りのところで早春の機関車の写真を撮りました。後で線路も全て流されたと聞いて、ショックでした。写真も手につかなくなりました。

Q 鉄道写真は今でも撮っていますか？

A 色々な雑誌を読みあさり、機関車を撮りたいと全国各地に出かけました。今は走っていない列車ばかりです。よく撮ってきたという満足感があります。もう十分満足していますね。伊藤さんは、寿公民館視聴覚委員でもあります。作品のいくつかは寿地区福祉ひろばでもご覧いただけます。

【館報編集委員 小澤信貴】

寿地区新年祝賀会

1月6日

「令和7年寿地区新年祝賀会」が開かれました。



【新年の挨拶】

開会前に寿公民館正面玄関前で写真撮影が行われ、出席された方々の引き締まった表情を一枚に収めることができました。

祝賀会は私の新年の挨拶から始まり、臥雲義尚松本市長からのお祝いの言葉の代読、今井ゆうすけ議員、塩原孝子議員、上條一正議員それぞれからのご挨拶をいただきました。今年は大きな災害もなく新年を迎えることができました。一年を通して平穏な日々が続くよう願っています。



【乾杯の様子】

な災害もなく新年を迎えることができました。一年を通して平穏な日々が続くよう願っています。

【寿地区町会連合会長 宮沢茂】

寿公民館視聴覚委員会主催「秋の撮影講座」



【透き通った川】

寿公民館視聴覚委員会主催の「秋の撮影講座」ということで「阿寺溪谷」を訪れました。今回は参加条件を、撮影した写真を額に入れて公民館へ提出できる方としました。そのため写真への熱意がある方々にご参加いただきました。

阿寺溪谷では、透き通った川の青さに目を凝らすことができました。



【紅葉した木】

帰り道に紅葉している木を発見し、みなさんカメラに写そうと必死になっていました。

【寿公民館視聴覚委員長 室賀 正】

寿・花の会

子どもを対象とした生け花教室で、平成22年より文化庁の伝統文化親子教室事業から助成金をいただいで活動しています。5月から12月の間に月1回、寿公民館で数名の先生から指導してもらいます。

最初は先生の指導の下に花を生けていきます。子どもたちは一つ一つ花を見つめながら、剣山に刺していき、少しずつ上達していきます。花材には個性があるので、完成すると思いいの作品となります。年1回寿地区文化祭に出品し、地域の方に見ていただく機会もあります。

お問い合わせは寿公民館58-2038まで。



【寿地区文化祭での展示】

【寿花の会 百瀬千春】